

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 代表者及びすべての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	帰宅願望がある利用者様が、施設での生活に慣れ、自分らしく生活ができる。また、地域での一員として、地域活動に参加ができる。	帰宅願望の利用者様に関して、職員の支援方法のばらつきがあり、職員間で情報を共有し支援方法の統一を図る。また、ご自身らしく生活ができるように、支援を行う。	12ヶ月
2	40	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者様と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の楽しみの中で、季節の食材や、行事食だけではなく、利用者様、お一人おひとりの好みの食事の提供を増やし、今まで以上に、食事を楽しんでいただく。	食事提供者の方に、嗜好調査をして頂き、毎月の献立に取り入れてもらう。また、希望食では、偏りが出てきている為、偏らないように希望食の検討を行っていく。	12ヶ月
3	40				12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。